
強欲な魔法使い

タニシ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

強欲な魔法使い

【コード】

N0238H

【作者名】

タニシ

【あらすじ】

迷い込んだ洋館にあった本には魔法使いが閉じ込められているという。

その洋館は深い森の中にあつた。道に迷つた私は道を尋ねようと洋館の扉を叩いた。何度叩こうが呼び掛けようが返事はなかつた。

困つた私は思い切つて扉を押しした。扉はギイと軋んだ音を出しながらゆつくりと開いた。人が住んでいる様子は無く、あちこちにクモの巣がはり、どこも埃まみれだつた。そつと中に入ると床に一冊のひからびた本が落ちていた。私は埃にまみれたその本を手にとつた。

表紙には『強欲な魔法使い』とあつた。埃を払いながらページをめくつた。

一ページ目には重々しい鉄格子の門の絵とともにこう書いてあつた。

『心して開くが良い。とても強欲で傲慢で極悪な魔法使いが今もここにいる』

二ページ目には古ぼけた洋館の絵とともにこう書いてあつた。

『強欲な魔法使いを捕らえた。魔法使いが改心しているならば解き放つてもよし、そうでなければそのまま閉じ込めておくがよいだろう』

三ページ目は地下に降りて行く暗い階段の絵とともにこう書いてあつた。

『用心せよ。強欲な魔法使いは改心したふりをしてあなたに助けを求めるであらう』

四ページ目、頑丈そうな鉄格子の絵があつた。鉄格子の向こうは暗くてよくわからない。おそらく魔法使いはここに閉じ込められているに違いない。

『見極めよ。魔法使いはそう簡単には改心できぬであらう』と書いてあつた。

五ページ目をめくる手は緊張し震えていたが、ゆつくりとページ

をめくった。

鉄格子のすぐ向こうに人が横向きに座っていた。そしてうつむき加減にこちらを見ている。

頬はこけ手足は痩せ細り、ボロ布のような物を身につけている。

そして魔法使いの言葉があった。

『どうか私をここから出して下さい。私は十分反省しましたし、もうとつくに改心しております。私にはあなたを、世界中の人間を従わせる大王にする事もできません。世界中の金銀財宝をあなたの元に集める事もできません。世界中の美味とされる食べ物を集める事もできません。どうか助けて下さい』

その横にはこう書いてあった。

『改心しているようであれば次のページを開くが良い。魔法使いは解き放たれる』

少しとまどったが本当にそんな事があるとは到底信じられず、ゆつくりとページをめくった。

『強欲で傲慢で極悪な魔法使いを捕らえた』という言葉と鉄格子の絵が書かれていたが、鉄格子の中には誰もいない。いやいなかっただが、徐々にうつすらと何か絵が浮かんでくる。人のようだ。見慣れた服を着ている。その人間は驚いた表情でこちらを見ている。

「わ、私が…」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0238h/>

強欲な魔法使い

2010年10月28日04時07分発行